

市民フロンティア



URL <http://www.cskobe.com/> E-MAIL info@cskobe.com 発行人：中村順子 編集人：岡本雅士

新事務所に移転しました！！

坂本 登 (CS神戸副理事長)



5月23日、CS神戸は念願がかない新事務所に移転、活動を開始しました。この新しい事務所は東灘区役所の西隣り、ビュータワー住吉という高層マンションの一階でJR住吉駅から南東へ徒歩で3～4分という非常に便利なところです。



正面玄関

誕生以来、これまで15年を経過したCS神戸は、地域の団体や企業、有志の協力を得て3度事務所を変ってきました。その都度、より地域の人たちに便利で気楽に立ち寄りいただける場所をと選んできました。前の事務所も駅前という立地条件には恵まれていましたが、3階と4階で階段しかなく、身体の障がいを持った方々や高齢者には気楽にというわけにもいかない上に、手狭にもなったことから15周年記念・地域貢献事業の一つとしてこのたびの移転を決断したものです。



業務風景

面積は200㎡あります。ちょっと贅沢かなと思いますが、ここでCS神戸は、これから新しいNPO活動を始めたいという人たちのためのインキュベーションオフィスや情報コーナー、会議室や相談コーナー、各種活動展示コーナーなどを設ける他、NPOに関する各種講演や研修コーナーなどを展開します。また地域の人たちが気楽に立ち寄りお茶でも飲める居場所にもなれば、と欲張っています。

引っ越しは21日から22日にかけて無事に終わりました。ここに至るまでに内装や機器の移動など多くのことがあり、2か月に亘る「NPO法人すみよいらしサポート」さんの改装工事や「株大阪通信」さん、「和工房」さん、「株キットシステム」さんなど多くの方々の協力がありました。特に「すみよいらしサポート」さんには多くのアイデアと協力を頂きました。厚く御礼申し上げます。

東日本大震災というこの未曾有の出来事は我々にとって16年前のあの阪神・淡路大震災を今一度想起するものになりました。CS神戸はあの震災を機に生まれました。今、我々の経験したあの事象が日本の東北地方を中心に進行中です。そして復興の過程でCS神戸の経験が一つのモデルとして検証され続けています。引き続きその判定はこれからの活動にもかかってきます。CS神戸は何を問題にしよう対処してきたのか、これからはどうかということです。

いまここに新しい皮袋が与えられました。私たちがその袋に注ぐその酒はCS神戸の誕生以来変わっていない地域の人たちと共に歩む「自立と共生」「創造と継続」「福祉の増進」というCS神戸の精神です。この時期に新しい事務所を得たことは、いま一度我々も自らの検証をはじめることだと思っています。



新住所 〒658-0052
神戸市東灘区住吉東町5-2-2 ビュータワー住吉館104
(電話・FAXは変更ありません)

東日本大震災支援活動

～CS神戸の、やるべきこと、やれること、
やりたいこと～

3・11 東日本大震災の支援に関し、いち早く「被災地と被災者の要望に沿い、政府・行政機関と密接な連携のもと、息の長いサポートを行う」という、基本方針を理事会及びスタッフ会議において確認し支援を行っています。この2ヶ月間してきたことは、義援金・支援金を募金し、過去に支援をいただいた団体や、神戸から現地で活動している団体を資金面でバックアップ、神戸に避難されてきた被災者の生活サポート CS の体験してきたノウハウの提供です。



(株)六甲歯研の職員親睦会様より寄贈を受ける

具体的には として、さわやか福祉財団 50 万円、せんだいみやぎ NPO センター 30 万円、NPO 事業サポートセンター 10 万円、市民福祉団体全国協議会 10 万円、被災地 NGO 協働センター 105,599 円、日本災害救援ボランティアネットワーク 106,577 円、それぞれに寄付させていただきました。

としては、下の表の内容ですが、25 世帯 70 名を越す被災者の方々に物資提供や情報提供などさまざまな支援を行い、皆さんから手厚いサポートに感謝の声が届いています。西部方面は、神戸西助け合いネット

ワークがストックヤードと運搬業務を主に担当いただき機能的な支援となっています。この集計は週報として毎月曜日に更新し HP に掲載しています。

として、スタッフの朴さんが 5/11～5/16 まで兵庫県設置の仙台泉パーキングエリア内のボランティア情報センターに応援参加、中村順子が複数の団体に支援ノウハウを提供しています。これらが CS 神戸のさし当たってやるべきこと、やれることでした。

さて、やりたいことは、ご

CS神戸／東日本大震災NPOにおける生活支援状況 月曜週間報告(5/16版)

兵庫県公営住宅には134世帯446人(4/7)が避難されています。うちCS神戸に要望のあった方々のまとめです。

	3/24～4/17	4/18～4/24	4/25～5/1	5/2～5/8	5/9～5/15	累計
依頼世帯(家族数)	14世帯(46人)	6世帯(13人)	3世帯(8人)	2世帯(5人)	1世帯(3人)	26世帯(75人)
転入先	垂水区5、長田区2、中央区2、西区2、須磨区1、北区1、県外1	西区2、須磨区2、垂水区2	北区2、須磨区1	北区1、長田区1	芦屋市1	垂水区7、西区4、須磨区4、北区4、中央区2、長田区3、芦屋市1、県外1
転出地	福島12、宮城2	福島2、宮城2、岩手1、茨城1	福島2、岩手1	福島2	宮城1	福島18、宮城5、岩手2、茨城1
家族構成の特徴	妊婦さん家族	何らかの疾病を抱えた家族	幼児・高齢者世帯	—	—	—
依頼内容の特徴	洗濯機、冷蔵庫、電子レンジがトッパ。掃除機、TV、食卓テーブル、衣装ケースなどが続く ・求職情報の要望	・物品以外の介護サービス ・帰仙費用の要望など	・不足の家電、家具類 ・自転車	・不足の家電 ・しごと情報	・芦屋市行政を通じた依頼	—
依頼件数	31件	8件	5件	3件	3件	50件
全体数	215人	38人	4人	10人	5人	272人
提供者	企業会社より	—	・住友ゴム(倉庫、支援金、物資) ・エディオン(家電製品) ・P&G(スターターセット、オムツ) ・友利家(理美容券)	・雅工房(自転車)	—	—

報告した取り組みはもちろんですが、基本方針にある“息の長い”取り組みです。募金に関して、少なくとも年単位で定額・定期的な募金の仕組みを提案させていただきたいと考えています。は心のケアに通じる支援メニューについて被災者の要望を聞きとることから始めます。は兵庫県内のNPOや全国のNPOの皆さんとも連携しながら、カウンターパートの取り組みなど実効性のある支援を検討します。皆様方と共に、CS神戸のやるべきこと、やれること、やりたいことを追求し続けてまいりますので末永くよろしく願いいたします。(理事長：中村順子)



NPO調査事業

新しいプロジェクト
がスタート！！

神戸市からこのたび「非営利活動法人活動実態調査」事業を受託しました。行政としては、NPOの認証業務が来年度より県から神戸市に移管されるにあたり、その実態を知りたいというのが第一の目的です。そして2番目には、円卓会議を通じてソーシャルビジネス(SB)の育成方法を以前より検討していた神戸市が、その可能性や課題を把握したいというニーズがあります。SBに関しては、社会的な問題を解決しながら、雇用や需要を生み出す新たな担い手として、市はNPOの活動に期待をかけています。

CS神戸としても、この調査を行うことで、各NPOとのネットワークを強化し、本調査情報の分析・提言、さらにはNPOやSBに関する他の調査結果や事例の収集と、総合的な情報発信を通じて、中間支援機能のさらなる拡充を図っていきたくと思っています。石川理事(龍谷大学経済学部教授)の指導・監修の下、4名のスタッフと一緒に活動を進めており、8月末を期限として業務に追われている毎日です。

調査は600以上ある市内のNPO法人全体に対する郵送アンケート調査と、その中から選択したSB系のNPOへの訪問ヒアリング調査の2本立てで行います。よりクオリティの高いアウトプットを目指して、今後とも、皆様のご支援とご協力を賜りたく、よろしく願い申し上げます。(岡本雅士)



CSファーム(ふるさと)事業

新しい事務所が
オープン！！



CSファームで農塾コース開設

2009年度初頭から丹波市氷上町常楽に拠点を構えて、丹波地域のコミュニティ・ビジネス(CB)創出支援事業を支援してきましたが、最終年となる3年目を迎えたことを機に、2011年度4月から篠山市南新町77に篠山事務所を開設し、また同時に篠山市西紀町下坂井511の「黒豆の館」の隣接地に、実験農場および市民農園として「CSユニバーサルファーム」も開設しました。丹波市での2年間のネットワークは、能口秀一氏のお陰でかなり充実してきましたので、篠山市におけるCB支援の強化をして、さらにふるさとチームスタッフ自身も自立していける新しい農業ビジネスとして、障がい者、引きこもり、フリーターから若者、女性、シニアパワーまでも含めたあらゆる人たちを受け入れられるユニバーサルな環境保全型農業ビジネスの拠点として、6.5次産業(0.5は人材育成)を目指すCB支援をしていきたいと考えています。

まずは、今年度のインターン生である藤久保幸輝氏の飲食店開業と仲介業の模索及び藤本傑士氏の半農半農家レストランの開業支援を強化し、丹波地域での特徴を活かした飲食のCB支援を行い、今までにない食育活動を通じて「食の文化」を発信できる体制を、CSユニバーサルファームと絡めながら展開していく予定です。

そして、2012年度からは、ふるさとチームのスタッフ、元スタッフのネットワークを生かし、CS神戸が構築してきた強いネットワークの支援を受けながら、丹波・篠山(ふるさと)と阪神間(まち)をつなぐコミュニティ・ビジネスの実践活動を行い、生きがいしごとサポートセンター丹波・篠山の拠点を確立し、新規雇用創出にも役立てていければと強く願っています。(国枝哲男)



CS篠山事務所の玄関前

たんぼアート参加者募集

篠山市で行われるイベントで、色の違う稲の苗を植えます。

残念ながらカラー印刷ではありません。



日時 2011年6月5日(日)10時~16時
場所 黒豆の館西隣のたんぼ(篠山市下板井)
現地集合、
募集人数 40人
参加費用 無料(JR住吉駅から往復送迎あり。
9時集合、交通費1500円)
連絡先 CS神戸篠山事務所 079-506-2422
国枝(携帯) 090-9985-4925
Eメール cbfarm@zeus.eonet.ne.jp

コミュニティ・ビジネス(CB)フォーラム

地域を元気にするビジネスのすすめ
~CBの可能性を探る!~

県内6つの生きがいしごとサポートセンターと日本政策金融公庫(資金面での創業支援)が共催で、コミュニティ・ビジネスの魅力と可能性、地域に貢献しながら働く楽しさをお伝えするフォーラムを開催します。

基調講演の講師は明快なCB概論が評判、ご自身も様々な事業を行い、社会起業家のサポーターとしても大活躍の田村太郎氏です。現在は、内閣官房震災ボランティア連携室の企画官としてもご多忙のところ、このフォーラムに駆けつけていただきます。

第二部は、CB実践者のナマの声・本音をお伝えするパネルディスカッションです。具体的なヒントが見つかります。

日時 7月9日(土) 13:30~16:30
内容 第一部 基調講演
第二部 パネルディスカッション
会場 よみうり神戸ホール
(JR元町から海側徒歩5分)
参加料 無料

ソーシャルアクション支援プログラム

地域課題を解決する様々なしごとや活動について、座学と実践を通じて総合的に学んでいただくためのコースです。過去2年間で多くの修了生が様々な地域活動(有償・無償)に参加されました。誰もが立ち寄れる居場所づくり



や里山保全に取り組む団体も立ち上がり、活動を始めています。自分たちのためにも、地域のためにもなるしごと、あなたも始めてみませんか?

<1学期/座学コース>

日程: 6月22、29日、7月6、13、20、27日
費用6,000円、定員60名

<2学期/体験コース>

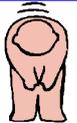
日程: 9月14~11月30日の10日間

<3学期/実務コース>

日程: 1月18、25日、2月1、8、15日、2月29日
費用2・3学期通して16,000円、定員30名

詳細は、担当:飛田(ひだ)まで、電話078-841-0310

会費・寄付・寄贈をいただき、
ありがとうございました



(期間11年1/1~11年5/13、いずれも順不同・敬称略)
トータルケアシステムは別枠で取扱っています。

【会費】

本多元彦、松元隆平、泉勇策、岡田進、菅祥明、朝山日出男、岡田雅幸、中島朋子、小竹吉明、大西佐知子、水王雅啓、河村ゆき江、兵頭修也、橋埜裕、平野久美

東日本大震災への募金・寄付について

ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。震災関連の募金につきましては、原則として募金箱に入金いただく形式にさせていただいており、お名前の掲載はしていません。送金先、支援内容についてはHP上の掲載をもって、報告とさせていただきます。ご理解、ご了承のほど、よろしくお願いいたします。

2011年度の会員継続をお願いいたします!

市民活動を共に支えて下さる賛助会員(個人・団体)の方々を募集しております。機関誌の定期配送や関係図書の特典、会員交流会をご用意しています。

【会費】個人会員 3,000円/年、団体会員 10,000円/年
【振込先】名義 NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸
郵便振替 00950-2-144205

編集後記

今回よりフロンティアの担当となりました。パソコン操作スキルに不安を抱えていて、デザイン・レイアウト面がいまひとつのできかも知れませんが、これから徐々に勉強していきたいと思いません。皆様の温かいご支援をお願いします。(O)